

【誤りの訂正方法】  
該当箇所を二本線で消し、必ず届出印にて訂正印を押してください。

固定電話がない場合は、  
携帯番号を記入する。

届出日を記入する。

(別記様式第2号)

## 群馬県教職員財産形成 一般貯蓄 年金貯蓄 住宅貯蓄 申込書兼印鑑届

(いずれかを○で囲む)

**教**

**新規**

(金融機関用)  
勤務先の長の印  
(所属長確認印)

〇〇〇  
**小学校**  
長の印

御中 平成 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日

フリガナ		マエバシ オオテマチ										連絡先電話番号					
住所		(〒 371 - 8570) 前橋市大手町1-1-1										自宅 ( 027 ) 223 - 1111		勤務先 ( 027 ) 〇〇〇 - 〇〇〇〇			
氏名	カナ	ア	カ	キ	タ	ロ	ウ	氏名				届出印	生年月日				
赤城 太郎		赤城 太郎				赤城	昭和 2 〇〇 1 0 2 8				平成 3	満 〇〇 歳 性別 (男)・女					
職員番号	1	2	3	4	5	6	所属コード	7	7	7	7	7	所属名	〇〇小学校			
契約取扱金融機関	△△△	銀行 信用金庫・労働金庫 信用組合・保険会社・信託銀行				□□□	支店	金融機関コード				1	2	3	4		
貯蓄の種類		1				2	3	4	支店支社コード				5	6	7		

### 1. 一般財形

控除預入額	毎月	1	0	千円
期末勤勉手当	6月	0	千円	
期末勤勉手当	12月	3	0	千円
積立開始日	平成 〇〇 年 12 月	(積立期間3年以上)		

### 2. 財形年金

控除預入額	毎月	千円	積立期間
期末勤勉手当	6月	千円	平成 年 月 日から 平成 年 月 日まで
期末勤勉手当	12月	千円	土休日の場合は 前月の契約当日の前月 まで
受取開始日	平成 年 月 日から	(受取日は各金融機関所定の方法による)	
生保の場合		歳の契約当日	
受取期間			
A. 5年間 B. 7年間 C. 10年間 D. 15年間 E. 20年間 F. その他( )年間 G. 6年 H. 10年 I. 15年 J. 10年保証定額 K. 10年保証増額			
年金受取指定口座		取扱機関名 店名 預入口座番号	
年金受取回数		生保の場合 年間 1回 4回	

### 3. 財形住宅

控除預入額	毎月	千円
期末勤勉手当	6月	千円
期末勤勉手当	12月	千円
積立開始日	平成 年 月	(積立期間5年以上)
借入方法	住宅取得費が同貯蓄払戻によっても満たない場合は、金融機関等から借入することを予定しています。	

財形年金・財形住宅の場合 記入してください。

非課税限度額 〇 千円

**財産形成非課税年金貯蓄申告書**  
**財産形成非課税住宅貯蓄申告書**

平成 年 月 日

税務署長 殿

フリガナ	個人番号	届出印
氏名		
住所		

区分	受入機関の営業所等	最高限度額				貯蓄の種別	
所在地	名称	百万	万	千	円	預貯金	
非課税扱いの申告をする最高限度額	名称			0	0	0	合同運用信託 生命保険の保険料 損害保険の保険料
※すでに非課税扱いの申告をしている最高限度額	名称			0	0	0	
勤務先	所在地 名称					勤務先の長の印	
賃金の支払者	所在地 名称	前橋市大手町一丁目1番1号 法人番号 群馬県教育委員会教育員7000020100005					

※欄に記載した事項は事実と相違ありません。平成 年 月 日

<記入方法等>

- 届出印の押印は年金・住宅財形は10か所、一般財形は5か所です。
- 勤務先の長の印の押印は右上4か所です。ただし、申告書の※欄に記入した場合は、右下4か所にも押印してください。
- 非課税最高限度額は財形年金と財形住宅合わせて550万円以下になるように記入してください。
- 記入はボールペンで強めに、届出印は鮮明に押してください。

太線の枠内は、すべての項目に記入する。

特に職員番号は、誤りのないよう確認し、正しく記入する。  
※職員番号を誤ると、別の人から控除されてしまいます！

控除を希望する金額(千円の整数倍)を記入する。  
引き落としをしない欄にも必ず「0」を記入し、空欄のないように記入する。  
※万一未記入の場合には、0円として処理します。

当該年度の12月と記入する。

所属長は内容を確認のうえ、1. 3. 4及び5枚目に所属長印(公印)を押す。

届出印は1~5枚目まで、もれなく押す。

記入不要。

※1. 2. 3枚目を福利課へ提出してください。  
4枚目は所属保管用、5枚目は本人控えです。

# 記載例2 新規申込み「財形年金」

※下の申告書欄に個人番号を記入してください！

**【誤りの訂正方法】**  
 該当箇所を二本線で消し、必ず届出印にて訂正印を押してください。

(別記様式第2号)

## 群馬県教職員財産形成 一般貯蓄 年金貯蓄 住宅貯蓄 申込書兼印鑑届

(いずれかを○で囲む)

御中

平成 ○○年 ○○月 ○○日

フリガナ **マエバシ オオテマチ** 連絡先電話番号 (〒371-8570) **前橋市大手町1-1-1** 自宅 (027) 223-1111 勤務先 (027) 000-0000

住所

氏名 **アカギ タロウ** 赤城 太郎 届出印 **赤城** 生年月日 昭和 ② 00 平成 3 00 1 0 2 8 満 ○○ 歳 性別 (男) ・ 女

職員番号 1 2 3 4 5 6 所属コード 7 7 7 7 7 7 所属名 ○○小学校 満 ○○ 歳 性別 (男) ・ 女

契約取扱金融機関 **△△△** 銀行・信用金庫・労働金庫 信用組合・保険会社・信託銀行 □□□ 支店 金融機関コード 1 2 3 4 支店支社コード 5 6 7

**新規**

(金融機関用) 勤務先の長の印 (所属長確認印)

**○○○ 小学校 長の印**

**1. 一般財形**

控除預入額 毎月 千円

期末 6月 千円

勤勉 12月 千円

積立 平成 年 月 開始日 (積立期間3年以上)

**2. 財形年金**

控除預入額 毎月 0 千円 積立期間 平成 ○○年 12月 から 平成 ○○年 3月 まで

期末 6月 1 0 千円 生保の場合 契約当日の前月まで

勤勉 12月 5 千円

受取 平成 ○○年 10月 1日 から (受取日は各金融機関所定の方法による) 生保の場合 歳の契約当日

受取期間 A. 5年間 B. 7年間 C. 10年間 D. 15年間 E. 20年間 F. その他( )年間 G. 6年 H. 10年 I. 15年 J. 10年保証定額 K. 10年保証連増

取扱機関名 店名 預入口座番号 ○○銀行 ○○支店 (普)0000000

年金受取回数 年間 1回 4回

**3. 財形住宅**

控除預入額 毎月 千円

期末 6月 千円

勤勉 12月 千円

積立 平成 年 月 開始日 (積立期間5年以上)

借入方法 住宅取得費が同貯蓄払戻によっても満たない場合は、金融機関等から借入することを予定しています。

非課税限度額 **2 0 0 0** 千円

財産形成非課税年金貯蓄申告書 平成 ○○年 ○○月 ○○日

財産形成非課税住宅貯蓄申告書

税務署長 殿

フリガナ **アカギ タロウ** 個人番号 届出印 **赤城**

氏名 **赤城 太郎**

住所 **前橋市大手町1-1-1**

区分	受入機関の営業所等	最高限度額	貯蓄の種類
非課税扱いの申告をする最高限度額	所在地 □□市 □□町 123-4 名称 △△銀行 □□支店	百万 万 千 円 2 0 0 0 0 0	預貯金 合同運用信託 生命保険の保険料 損害保険の保険料
※すでに非課税扱いの申告をしている最高限度額	名称 * * 銀行 * * 支店	3 5 0 0 0 0	※欄
勤務先	所在地 ○○市 ○○町 ○-○-○ 名称 ○○市立○○学校	勤務先の長の印	
賞金の支払者	所在地 群馬県教育委員会教育長 名称 群馬県教育委員会教育長 法人番号 7000020100005	○ ○ ○ 小学校 長の印	

※欄に記載した事項は事実と相違ありません。平成 ○○年 ○○月 ○○日

太線の枠内は、すべての項目に記入する。

特に職員番号は、誤りのないよう確認し、正しく記入する。

※職員番号を誤ると、別の人から控除されてしまいます！

控除を希望する金額(千円の整数倍)を記入する。

引き落としをしない欄にも、必ず「0」を記入し、空欄のないように記入する。

※万一未記入の場合には、0円として処理します。

60歳以降でかつ最終積立日から所定の据え置き期間を経過した日を記入する。

※据え置き期間とは、最終積立日から受取開始日までの期間をいう。

普銀・信金・信組・労金は、6ヶ月以上5年以内信託は、3ヶ月以上5年以内。

固定電話がない場合は、携帯番号を記入する。

届出日を記入する。

所属長は内容を確認のうえ、1. 3. 4及び5枚目に所属長印(公印)を押す。

届出印は1~5枚目まで、もれなく押す。

当該年度の12月と記入する。最終積立日は55歳以上となる年月で、かつ積立期間が5年以上となるよう記入する。

今回新規に設定する金額を記入する。

届出日を記入する。

届出印は1~5枚目まで、もれなく押す。

※欄に記載した場合、所属長は内容を確認のうえ、1. 3. 4及び5枚目に所属長印(公印)を押す。

押印日を記入する。

すでに契約している財形住宅、あるいは今回新規で同時に申込みをする財形住宅の金融機関名及び非課税限度額を記入する。両方あわせて550万円を超えることはできません。

個人番号を記入する

※1. 2. 3枚目を福利課へ提出してください 4枚目は所属保管用、5枚目は本人控えです  
 また、個人番号を記載した場合、必ず「送付状」(福利ネット掲載の様式)を提出してください

新教5/1 28.8

記載例3 新規申込み「財形住宅」

※下の申告書欄に個人番号を記入してください！

【誤りの訂正方法】  
該当箇所を二本線で消し、必ず届出印にて訂正印を押してください。

(別記様式第2号)

## 群馬県教職員財産形成 一般貯蓄 年金貯蓄 住宅貯蓄 申込書兼印鑑届

(いずれかを○で囲む)

平成 ○○年○○月○○日

フリガナ **マエバシオオオマチ**

住所 (〒371-8570) **前橋市大手町1-1-1**

氏名 **アカキ タロウ**

職員番号 **123456** 所属コード **777777** 所属名 **〇〇小学校**

契約取扱金融機関 **△△△** (銀行・信用金庫・労働金庫 信用組合・保険会社・信託銀行) (支店) **〇〇〇** 金融機関コード **1234** 支店支社コード **567**

連絡先電話番号 自宅 (027) 223-1111 勤務先 (027) 〇〇〇-〇〇〇〇

届出印 **赤城**

生年月日 **昭和(2)〇〇1028** 満〇〇歳 性別 **(男)・女**

貯蓄の種類 **1234** 支店支社コード **567**

1. 一般財形

控除預入額	毎月	千円
期末勤労手当	6月	千円
期末勤労手当	12月	千円
積立開始日	平成○○年	月

2. 財形年金

控除預入額	毎月	千円	積立期間
期末勤労手当	6月	千円	平成○○年
期末勤労手当	12月	千円	平成○○年
受取開始	平成○○年	月	日

3. 財形住宅

控除預入額	毎月	10千円
期末勤労手当	6月	5千円
期末勤労手当	12月	0千円
積立開始日	平成○○年	12月

業態 受取方法 受取期間

普銀・信金 1. 定額型 A. 5年間 B. 7年間 C. 10年間 D. 15年間

労金・信組 2. 逓増型 E. 20年間 F. その他( )年間

信託・損保 3. 前厚型 G. 6年 H. 10年 I. 15年

生命保険 1. 確定年金型 J. 10年保証定額 K. 10年保証逓増

2. 終身年金型

年金受取指定口座 取扱機関名 店名 預入口座番号

年金受取回数 生保の場合 年間 1回 4回

非課税限度額 **3500** 千円

財産形成非課税年金貯蓄申告書 財産形成非課税住宅貯蓄申告書 平成○○年○○月○○日

税務署長 殿

フリガナ **アカギ タロウ** 個人番号 **〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇** 届出印 **赤城**

氏名 **赤城 太郎**

住所 **前橋市大手町1-1-1**

区分	受入機関の営業所等	最高限度額	貯蓄の種類
非課税扱いの申告をする最高限度額	所在地 <b>〇〇市 〇〇町 123-4</b> 名称 <b>△△銀行 〇〇支店</b>	百万 万 千 円 <b>3500000</b>	預貯金 合同運用信託 生命保険の保険料 損害保険の保険料
※すでに非課税扱いの申告をしている最高限度額	名称 <b>* * 銀行 * * 支店</b>	<b>2000000</b>	※欄
勤務先	所在地 <b>〇〇市 〇〇町 〇-〇-〇</b> 名称 <b>〇〇市立〇〇学校</b>		勤務先の長の印 <b>〇〇小学校 長の印</b>
賞金の支払者	所在地 <b>前橋市大手町一丁目1番1号</b> 名称 <b>群馬県教育委員会教育長</b> 法人番号 <b>7000020100005</b>		

※欄に記載した事項は事実と相違ありません。平成○○年○○月○○日

すでに契約している財形住宅、あるいは今回新規で同時に申込みをする財形住宅の金融機関名及び非課税限度額を記入する。両方あわせて550万円を超えることはできません。

個人番号を記入する

※1. 2. 3枚目を福利課へ提出してください 4枚目は所属保管用、5枚目は本人控えです  
また、個人番号を記載した場合、必ず「送付状」(福利ネット掲載の様式)を提出してください

所属長は内容を確認のうえ、1. 3. 4及び5枚目に所属長印(公印)を押す。

届出印は1~5枚目まで、もれなく押す。

控除を希望する金額(千円の整数倍)を記入する。  
引き落としをしえない欄にも必ず「0」を記入し、空欄のないように記入する。  
※万一未記入の場合には、0円として処理します。

当該年度の12月と記入する。

今回新規に設定する金額を記入する。

届出日を記入する。

届出印は1~5枚目まで、もれなく押す。

※欄に記入した場合、所属長は内容を確認のうえ、1. 3. 4及び5枚目に所属長印(公印)を押す。

押印日を記入する。